

平成28年度 大阪府公立高等学校入学者選抜の概要

入試の日程

特別入学者選抜（2月）

…実技検査や面接を行う学校18校で実施

- ◆出願期間：平成28年2月15日（月）、16日（火）（音楽科は、2月 2日（火）、 3日（水））
- ◆学力検査等：平成28年2月22日（月）、23日（火）（音楽科は、2月14日（日）、22日（月））
- ◆合格者発表：平成28年3月 1日（火）

課程・学科等		学力検査	学力検査以外
全日制	工業に関する学科（建築デザイン科・インテリアデザイン科・プロダクトデザイン科・映像デザイン科・ビジュアルデザイン科・デザインシステム科）・美術科・体育に関する学科・芸能文化科・演劇科・音楽科・総合造形科 デュアル総合学科・ 総合学科（エンパワメントスクール）	5教科（国語・社会・数学・理科・英語*） *リスニングテストを含む。	実技検査
多部制単位制	I部・II部（クリエイティブスクール）普通科		面接
昼夜間単位制	普通科・ビジネス科		

- 特別選抜や一般選抜で合格者数が募集人員に満たなかった学科等は、一般選抜後に「二次選抜」を実施します。
- 秋季選抜は、9月に府立桃谷高校（多部制単位制 I部、II部、III部（クリエイティブスクール））で、実施します。

一般入学者選抜（3月）

…151校で実施

受験の機会は
原則1回になります。

- ◆出願期間：平成28年3月 3日（木）、4日（金）、（音楽科は、2月 2日（火）、 3日（水））
（通信制の課程は、3月4日（金）、6日（日）、7日（月））
- ◆学力検査等：平成28年3月10日（木）（通信制課程の面接は、3月11日（金）、13日（日）、14日（月））
- ◆合格者発表：平成28年3月18日（金）

課程・学科等		学力検査	学力検査以外
全日制	全ての学科（特別選抜を行う学科を除く。）	5教科（国語・社会・数学・理科・英語*） *リスニングテストを含む。	—
定時制	全ての学科（昼夜間単位制を除く。）	3教科（国語・数学・英語*） *リスニングテストを含む。	—
多部制単位制	I部・II部（クリエイティブスクール）普通科		
通信制	普通科	—	面接*

（面接：自己申告書を面接の参考資料にします。）

※それぞれの選抜で、募集人員を複数の学科等ごとに設定している高校では、他の1学科等を第2志望とすることができます。

- （例）
- 〇〇高校：第1志望「文理学科」、第2志望「普通科」
 - △△高校：第1志望「大学進学専科」、第2志望「総合募集の専科」
 - 高校：第1志望「多部制単位制 I部」、第2志望「多部制単位制 II部」

入試で使う資料

学力検査

5教科になります！

(夜間定時制・多部制単位制Ⅲ部を除く。)

【国語・数学・英語】 (高校によって問題の種類が変わります。A基礎的問題、B標準的問題、C発展的問題)

特別選抜 : 2種類(A基礎的問題、B標準的問題)

一般選抜 : 3種類(A基礎的問題、B標準的問題、C発展的問題)

【社会・理科】

特別選抜、一般選抜 : それぞれ1種類のみ

特別選抜

検査教科	国語	数学	英語		理科	社会	満点
			筆頭	リスニング			
時 間	40分	40分	40分	15分	40分	40分	225点
配 点	45点	45点	45点		45点	45点	

一般選抜

検査教科	国語	数学	英語		理科	社会	満点
			筆頭	リスニング			
時 間	50分	※50分	40分	15分	40分	40分	450点
配 点	90点	90点	90点		90点	90点	

※数学のC発展問題は60分です。

※夜間定時制・多部制単位制Ⅲ部は3教科(国、数、英)です。

自己申告書

全員提出が必要です！

(中国等帰国外国人生徒選抜を除く。)

- ・受験生は、中学校での学習や高校生活における抱負など、あらかじめ教育員会が示すテーマについて記載し、出願時に提出します。
- ・選抜での判定資料や面接の参考資料となります。

その他

①調査書の記載内容が変わります。

- ・平成28年度入試から、目的に準拠した評価(絶対評価)の5段階の評定が記載されます。
- ・「活動/行動の記録」欄が新設されます。

入試年度	対象学年(比率)
平成28年度入試(現中3生)	第3学年のみ
平成29年度入試(現中2生)	第2学年(1) : 第3学年(3)
平成30年度入試(現中1生)	第1学年(1) : 第2学年(1) : 第3学年(3)

②調査書の評定は学力検査の満点と同じになります。

特別選抜 : 225点満点⇒5段階×9教科×5倍

一般選抜 : 【全日制】450点満点⇒5段階×9教科×10倍

【定時制】270点満点⇒5段階×9教科×6倍……多部制単位制Ⅲ部を含む

同一校での複数学科志望が可能に

複数学科を設置している高校では、同一の学力検査問題を使用し第1、第2志望が可能になりました。

(例)

第1志望

「文理学科」

第2志望

「普通科」

大阪府公立高等学校入学者選抜の方法

一般選抜900点満点

学力検査の成績

5教科(国社数理英)各90点
450点満点

調査書評定

9教科の各50点(評定×10)
450点満点

特別選抜450点満点

学力検査の成績

5教科(国社数理英)各45点
225点満点
※実技検査を行う場合加算

調査書評定

9教科の各25点(評定×10)
225点満点

下記の5つのパターンから、各高等学校長が選択し、教育委員会に申請する。
※ () 内点数は、倍率をかけた左：一般選抜、右：特別選抜の点数

タイプ	①と②の比率	①学力検査成績にける倍率	②調査書評定にける倍率
I	7 : 3	(630) 1.4倍 (315)	(270) 0.6倍 (135)
II	6 : 4	(540) 1.2倍 (270)	(360) 0.8倍 (180)
III	5 : 5	(450) 1.0倍 (225)	(450) 1.0倍 (225)
IV	4 : 6	(360) 0.8倍 (180)	(540) 1.2倍 (270)
V	6 : 4	(270) 0.6倍 (135)	(630) 1.4倍 (315)

■ 複数学科設置校の選抜について

- ①志望学科に関係なく、全ての受験生を総合点順に並べ、上位者からそれぞれの第1志望の学科の合格候補者とする。
- ②1つの学科のボーダーゾーンを含んだ人数が、合格者で満たされた時点で、その学科の合格者を先に決定する。(ボーダーゾーン内の扱い)
- ③その時点での合格決定者を除いた者の中から、志望順位に関わらず(第1志望の受験生より総合点が高い第2志望の受験生を上位者とみる)総合点の上位者から順に、他方の学科の合格者を決定、ただし、その学科を志望しない者を除く。
- ④3つ以上の学科を設置している場合は、同じ手順を繰り返す。

合否判定の方法

1. 一般選抜(通信制除く)・特別選抜(実技検査実施)

〈Step 1〉

総合点の高い人の順に募集人員の110%に相当する人を選抜する。

〈Step 2〉

総合点の高い人の順に募集人員の90%に相当する人を合格とする。

〈Step 3〉

合格が決まってない人(ボーダーゾーン20%)の中から、自己申告書及び調査書の「行動・活動の記録」の記載内容により、その高等学校の求める生徒像に合う人を総合点の順位に関わらず優先的に合格とする。

〈Step 4〉

Step 3の合格者を除き、改めて総合点の高い人から順に、募集人員を満たすまで合格とする。



2. 特別選抜(面接実施)

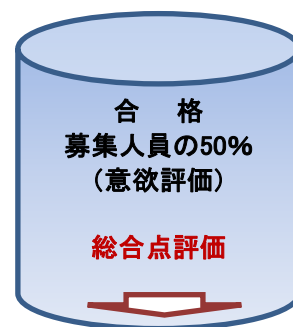
〈Step 1〉

学力検査の成績が一定以上だった受験生のうち、その高校の求める生徒像に合う人から順に、募集人員の上限50%を合格とする。
下記選抜資料評価資料の評価比率で行う。(意欲評価)

面接：自己申告書：調査書「活動と行動の記録」＝2：1：1

〈Step 2〉

Step 1の合格者を除き、総合点の高い人から順に、募集人員を満たすまで合格とする。



絶対評価導入による調査書評定について

中3 調査書評価に全国学力テストを利用

大阪府教育委員会は、高校入試に使われる中学3年の内申点をつける際の基準として、文部科学省が行う全国学力・学習状況調査の学校別成績を活用することを決めた。全国学力テストの平均正答率が高い学校ほど、内申点（5段階評価）の平均が高くなる仕組み。

◆府内統一ルール

①平成26年度実施チャレンジテストでの検証をもとに府全体の「評定平均」を計算する。

府全体評定平均 $3.22 = 5(\text{評定}) \times 12\% + 4 \times 25\% + 3 \times 41\% + 2 \times 17\% + 1 \times 5\%$

②平成27年度実施全国学力テストにおける当該校の平均正答率と府全体との比

B中学校の場合 $63\% \div 60\% = 1.05$

③当該校の「評定のめやす」を計算する

B中学校の場合

$3.22 \times 1.05 = 3.38$

④評定平均のめやす ± 0.3 を当該校の「評定平均の範囲」とし、9教科のトータルの評定平均を範囲内で確定する。

B中学校の場合

$3.08 \sim (-0.3) 3.38 (+0.3) \sim 3.68$

《平成27年度実施全国学力テスト》

A 中学校	府全体	B 中学校
57.0%	60.0%	63.0%
0.95	1とする	1.05
3.06	3.22	3.38
2.76～3.36の範囲内		
3.08～3.68の範囲内		

※平均正答率は仮定とした場合

今年度の実施結果は8月下旬発表の予定

◆大阪市統一テストの実施概要と評価の取り扱い

大阪府教育委員会は、高校入試に使われる中学3年の内申点の基準に、府教委の方針(全国学力テスト活用)を受け入れ、学校別の内申点平均は府教委が示した範囲内に収める。

実施日 ▶ 平成27年10月15日(木)全ての私立中学校で実施する

実施教科 ▶ 5教科(国語・社会・数学・理科・英語)各45分

①各教科ごとに、全市の得点分布において、上位6%に入る生徒に評定5、上位18%に評定4以上、上位39%に3以上を保障する。

②各中学校における評定は府内統一ルールに従い、学校ごとの「評定平均の範囲」内に収める。

大阪市統一テストの活用

評定 5	評定 4	評定 3
得点分布で上位 6 % 以内		
得点分布で上位 1 8 % 以内		
得点分布で上位 3 9 % 以内		

高等学校の学費

〈府の私立高校授業料支援補助金制度の見直し〉

府独自実施の私立高校授業料無償化制度の平成28年度以降の見直し

現行制度		新制度
授業料無償化の世帯年収	610万円未満	590万円未満
年収610万円～800万円未満自己負担	10万円	20万円
年収800万円～910万円未満自己負担	—	子ども3人以上(私立高や大学通学)の家庭の自己負担を原則20万円までに抑える。